

アネスト岩田株式会社 2023年3月期1Q 決算補足説明資料

2022年8月9日

東証プライム市場 機械

証券コード6381

原材料費の高騰は想定以上だが、値上げで下期にリカバリ。対面の販促活発化で販管費増だが海外売上は好調

売上高：9,999百万円（前年比 +898百万円、+9.9%）

営業利益：820百万円（同 -72百万円、-8.1%）

エアエナジー 事業

- 2019年3月期に買収・子会社化したSCR社による順調な寄与が継続。中国を主とした汎用圧縮機及びインドにおける特定市場※向けオイルフリー圧縮機の売上が伸長

- 中国を中心に半導体関連装置向け真空ポンプの売上が伸長

売上高：6,101百万円（前年同期比：+628百万円、+11.5%）

営業利益：505百万円（同：+57百万円、+12.9%）

営業利益率：8.3%（同：+0.1pts）※特定市場：医療、車両搭載、分析などの特定用途

コーティング 事業

- 日本を除き、スプレーガンを主とした塗装機器の売上が伸長

- 塗装設備は客先の工事計画遅延に伴う大型案件の納入遅れなどの発生により売上が減少

売上高：3,897百万円（前年同期比：+270百万円、+7.4%）

営業利益：315百万円（同：-130百万円、-29.3%）

営業利益率：8.1%（同：-4.2pts）

（注）1.事業別営業利益は当社グループ独自の基準により算定

2.日本とインドの期末は3月、他地域は12月であり、他地域の連結決算は3か月の期ズレが発生

売上高・経常/当期純利益は増加も、営業利益は原材料費高騰、販促費増、客先要因による塗装設備の納入遅れなどに伴い微減益。10/1からの値上げ、国内外の売上増加、塗装設備の着実な納入で通期計画は変更なし

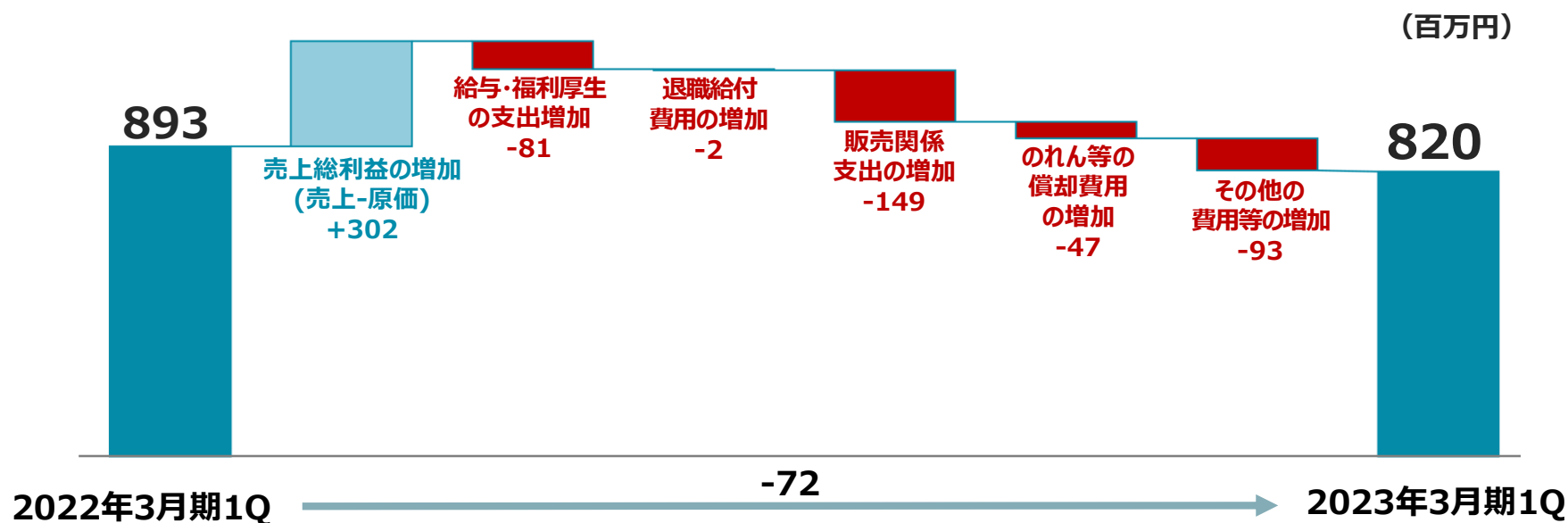
- 売上高は、海外市場（特に欧州及び中国）が牽引。為替の影響は497百万円
- 営業利益は、原材料価格のさらなる高騰に起因する売上原価の増加や運送費並びに販売活動費用の増加により減少

	2022年3月期1Q		2023年3月期1Q		前年同期比			2023年3月期業績予想 (2022年5月10日発表)	
	実績 (百万円)	利益率 (%)	実績 (百万円)	利益率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	利益率変化 (pts)	予想値 (百万円)	進捗率 (%)
売上高	9,100	—	9,999	—	+898	+9.9	—	44,000	22.7
営業利益	893	9.8	820	8.2	-72	-8.1	-1.6	4,900	16.7
経常利益	1,114	12.2	1,291	12.9	+177	+15.9	+0.7	5,650	22.8
親会社株主 帰属純利益	700	7.7	808	8.1	+108	+15.5	+0.4	3,580	22.6
平均為替レート 円/米ドル	105.90 円		116.20 円		10.30 円 円安			118.00 円	
平均為替レート 円/ユーロ	127.69 円		130.39 円		2.70 円 円安			137.00 円	
平均為替レート 円/人民元	16.36 円		18.29 円		1.93 円 円安			18.50 円	

【為替の感応度について】営業利益ベースによる傾向値

1円の円安にて、米ドル:10百万円/年、ユーロ:10百万円/年、人民元:30百万円/年、それぞれ増加

原材料費の上昇継続。対面販促の活発化、塗装設備の納入遅延などにより減益



[+] 売上高の増加 : 9,999百万円 (前期比 +898百万円)

[-] 原価率の上昇 : 56.1% (同 +1.0pt)

・値上げ実施後 (日本 : 2021.9~、海外 : 2022.1~) の原材料価格が継続して上昇し、仕入コストが増加

[-] 販売管理費率の上昇 : 35.6% (同 +0.6pt)

- ・旅費交通費はコントロール継続も、実需に見合った活動として増加
- ・海外にて大型のリアル展示会参加などにより広告宣伝費も増加
- ・海外における人件費及び運送費の増加
- ・営業改革関連のソフトウェアに係る償却費用の増加

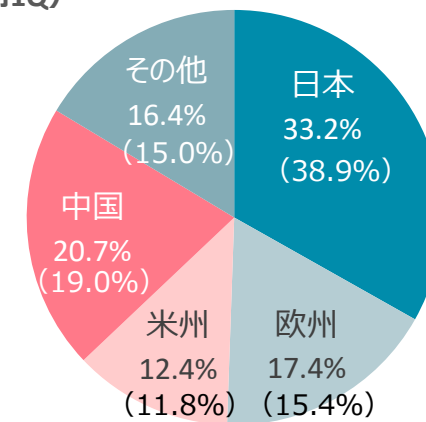
- ・海外市場が好調に推移し、海外売上比率上昇（66.8%）
- ・現中期経営計画の策定に伴い、当連結会計年度より所在地別セグメントの区分方法を変更

- 日本** ■ 減収。圧縮機用部品の供給遅延による影響（約100百万円）、塗装機器にて主に塗装ブースの売上減少
- 欧州** ■ 増収。主力の自動車補修市場向けスプレーガン及びオイルフリー圧縮機の売上増加
- 米州** ■ 増収。アメリカの自動車補修市場向けスプレーガンやブラジルの医療向け圧縮機の売上増加
- 中国** ■ 増収。中国国内向け汎用圧縮機やコンピュータ・携帯電話・家電などの3C市場向け塗装機器の売上増加
- その他** ■ 増収。インドの医療・車両搭載向け圧縮機や東南アジアにおける塗装機器の売上増加

【セグメント区分】欧州:従来のヨーロッパにロシアを追加、米州:アメリカ、メキシコ、ブラジル、その他:中国を除くアジア、オーストラリア、南アフリカ

(百万円)	2022年 3月期1Q	2023年 3月期1Q	増減額	増減率(%)	エアエナジー事業		コーティング事業	
					圧縮機	真空機器	塗装機器	塗装設備
日本	3,537	3,315	-221	-6.3	●	○	×	○
欧州	1,400	1,737	+336	+24.0	◎	◎	◎	-
米州	1,073	1,236	+163	+15.3	○	○	◎	×
中国	1,728	2,067	+339	+19.7	◎	◎	◎	×
その他	1,361	1,641	+279	+20.6	◎	◎	◎	×
合計	9,100	9,999	+898	+9.9	◎	◎	◎	×

■ 構成比
2023年3月期1Q
(2022年3月期1Q)



◎ 10%～ ○ 3%～10% △ 0%～3% ▼ 0%～-3% ● -3%～10% × -10%～

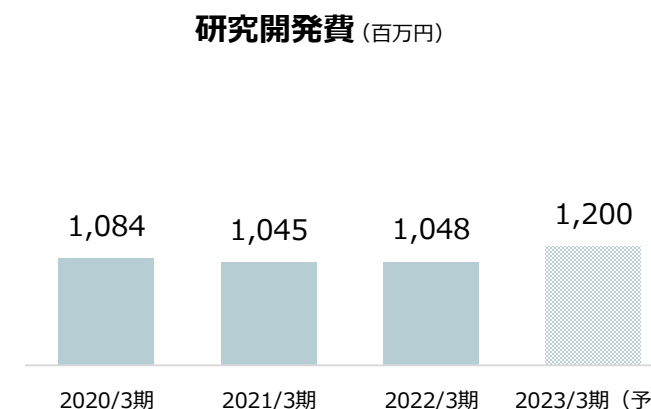
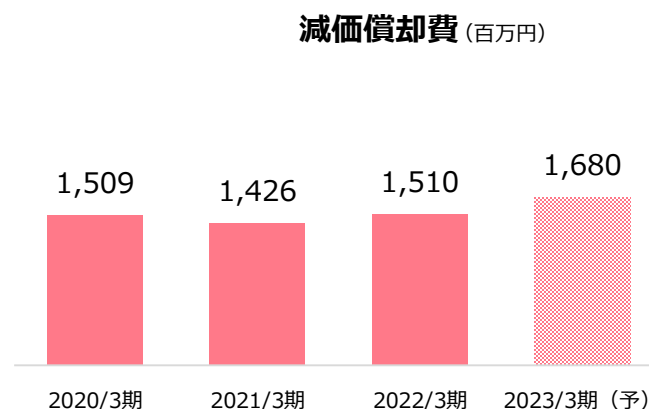
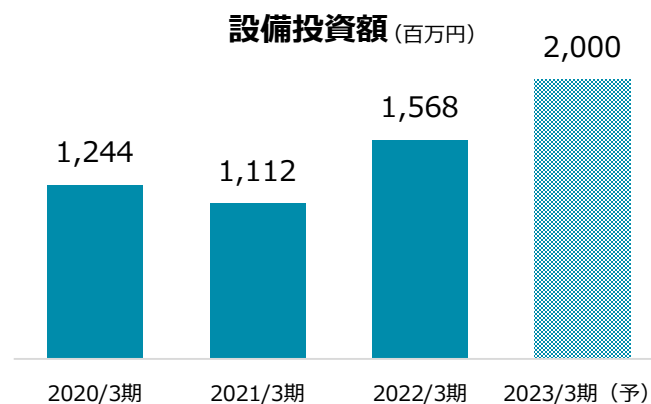
- ・コロナ禍以前から部品の在庫確保を優先する戦略により流動資産は増えるも、圧縮機の納期は短縮傾向
- ・円安進行の影響を受けて純資産が増加

		2022年3月期	2023年3月期	対前期末差異		
		通期期末	1Q	増減額 (百万円)	増減率 (%)	主な増減要因
		実績 (百万円)	実績 (百万円)			
資産	流動資産	34,326	34,676	+350	+1.0%	・「現金及び預金」の減少 -355百万円 ・「原材料及び貯蔵品」の増加 +663百万円
	固定資産	21,492	21,779	+287	+1.3%	・「建物及び構築物（純額）」の増加 +87百万円
	資産	55,818	56,456	+637	+1.1%	
負債及び 資本	流動負債	11,616	11,096	-519	-4.5%	・未払法人税等の減少 -445百万円
	固定負債	3,992	4,136	+143	+3.6%	・生産設備導入に伴うリース債務の増加 +92百万円
	負債	15,608	15,232	-375	-2.4%	
	株主資本	34,582	34,537	-44	-0.1%	
	その他の包括利益 累計額	1,040	1,909	+868	+83.5%	・為替換算調整勘定の増加 +894百万円
	非支配株主持分	4,586	4,776	+189	+4.1%	
	純資産	40,210	41,223	+1,013	+2.5%	
	負債・純資産	55,818	56,456	+637	+1.1%	

前期に繰り越した福島工場の生産設備投資をはじめ、ほぼ計画通りに進捗。

(百万円)	2023年3月期 1Q実績			
	設備投資額	減価償却費	研究開発費*	売上高
実績 (進捗率)	503 (25.2%)	411 (24.5%)	327 (27.3%)	9,999
計画	2,000	1,680	1,200	—
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種工作機械等 (新設・更新) ・生産ラインの更新・増強 ・通信インフラ整備 ・IT関連投資 			

(注) 研究開発費：研究開発に係る一般管理と製造経費の合計値



10/1からの値上げ(日本)で、原材料費上昇を転嫁。塗装設備の納入遅延も下期に解消見込。通期予想は据え置き

		2022年3月期 (実績)	
		実績 (百万円)	構成比 (%)
売上高		42,337	100.0
エアエナジー	圧縮機	22,950	54.2
	真空機器	2,064	4.9
	小計	25,015	59.1
コーティング	塗装機器	14,451	34.1
	塗装設備	2,869	6.8
	小計	17,321	40.9
営業利益		4,780	11.3
エアエナジー		2,513	—
コーティング		2,267	—
経常利益		5,572	13.2
親会社帰属当期純利益		3,541	8.4
平均為替レート 円/米ドル		109.80	(実績)
平均為替レート 円/ユーロ		129.89	
平均為替レート 円/人民元		17.01	
※配当 (中間+期末 = 年間)		13円 + 17円 = 30円	

2023年3月期 (予定)			
目標額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
44,000	100.0	+1,662	+3.9
—	—	—	—
—	—	—	—
26,000	59.1	+984	+3.9
—	—	—	—
—	—	—	—
18,000	40.9	+678	+3.9
4,900	11.1	+119	+2.5
2,600	—	+86	+3.5
2,300	—	+32	+1.5
5,650	12.8	+77	+1.4
3,580	8.1	+39	+1.1
118.00	(想定)		
137.00			
18.50			
15円 + 16円 = 31円			

東欧の紛争やコロナ禍による中国のロックダウンなど、世界的に不透明な状況を想定。一方でもう一段の値上げ及びその浸透や業務改革を継続し、収益力を高めることで増収増益を目指す

前提条件

売上高44,000百万円 (+3.9%)

- 東南アジア、中国を主としたコロナ禍による世界経済の減速
- 欧州東部における紛争による資源価格の高騰など、欧州を始めとした世界経済の減速
- 半導体や電子部品の供給不足に伴う生産の減少
- 為替については、想定レートを基準としながらも、柔軟に見直し
- 塗装設備受注残の着実な納入
- 自動車メーカーの新車出荷遅延による影響少
- 海外を中心に圧縮機の需要増加傾向は今期も続く

営業利益4,900百万円 (+2.5%)

- 2022年3月期に続き、営業改革や業務効率の改善を継続
- 経費については、コロナ禍以前の状態へ戻さず利益を創出
- 原材料及び物流費の高騰に対する値上げのさらなる浸透。海外は定期的に、国内は2年続けて値上げを実施

- ・営業利益：売上原価率及び販売管理費率が上昇も下期改善を見込む
- ・経常利益：為替差益は+290百万円

	2022年3月期1Q		2023年3月期1Q		前年同期比		
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	構成比率変化 (pts)
売上高	9,100	—	9,999	—	+898	+9.9	—
売上原価	5,018	55.1	5,613	56.1	+595	+11.9	+1.0
売上総利益	4,082	44.9	4,385	43.9	+302	+7.4	-1.0
販売管理費	3,189	35.0	3,564	35.6	+375	+11.8	+0.6
営業利益	893	9.8	820	8.2	-72	-8.1	-1.6
営業外収益	246	2.7	493	4.9	+247	+100.5	+2.2
営業外費用	24	0.3	22	0.2	-1	-7.9	-0.0
経常利益	1,114	12.2	1,291	12.9	+177	+15.9	+0.7
特別利益	0	0.0	2	0.0	+1	+296.8	+0.0
特別損失	0	0.0	1	0.0	0	+23.8	+0.0
税金等調整前純利益	1,114	12.2	1,293	12.9	178	+16.0	+0.7
法人税等	294	3.2	323	3.2	29	+10.2	+0.0
非支配株主帰属純利益	120	1.3	160	1.6	40	+33.8	+0.3
親会社株主帰属純利益	700	7.7	808	8.1	108	+15.5	+0.4

【累計】

単位：百万円		2023年3月期			
		1Q	1~2Q	1~3Q	1~4Q
売上高		9,999			
前年同期比		+9.9%			
エアエナジー	圧縮機	5,583			
	前年同期比	+10.3%			
	真空機器	518			
	前年同期比	+25.8%			
売上高		6,101			
前年同期比		+11.5%			
コーティング	塗装機器	3,726			
	前年同期比	+12.5%			
	塗装設備	171			
	前年同期比	-45.9%			
売上高		3,897			
前年同期比		+7.4%			
営業利益		820			
前年同期比		-8.1%			
エアエナジー	営業利益	505			
	前年同期比	+12.9%			
コーティング	営業利益	315			
	前年同期比	-29.3%			

【3か月ごと】

単位：百万円		2023年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q
売上高		9,999			
前年同期比		+9.9%			
エアエナジー	圧縮機	5,583			
	前年同期比	+10.3%			
	真空機器	518			
	前年同期比	+25.8%			
売上高		6,101			
前年同期比		+11.5%			
コーティング	塗装機器	3,726			
	前年同期比	+12.5%			
	塗装設備	171			
	前年同期比	-45.9%			
売上高		3,897			
前年同期比		+7.4%			
営業利益		820			
前年同期比		-8.1%			
エアエナジー	営業利益	505			
	前年同期比	+12.9%			
コーティング	営業利益	315			
	前年同期比	-29.3%			

2022年3月期 事業の概要報告説明動画を公開

業績のみならず、来る100周年、さらにその先の未来に向けて思いを語る動画を公開（約25分）



(主なコンテンツ)

- ・2022年3月期決算ハイライト
- ・新社長あいさつ
- ・製品開発
- ・生産改革
- ・新規事業
- ・物流改革
- ・健康経営
- ・当社グループの多様性

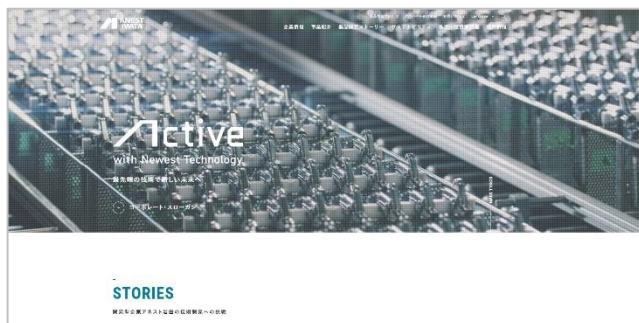


URL : https://www.anestiwata-corp.com/jp/ir/library/sh-meeting-material/information_2021r1

当社ウェブサイトリニューアル

より使いやすいウェブサイトを目指して、デザイン・構成ともに一新

企業情報サイト 2022.04～



(主なコンテンツ)

- ・会社概要
- ・サステナビリティ
- ・株主・投資家情報
- ・採用情報
- など

製品情報サイト 2022.07～



(主なコンテンツ)

- ・製品情報
- ・ソリューション提案
- ・サポート情報
- ・ECサイト
- ・webセミナー案内
- など

塗装用スプレーガンとそれを検査するコンプレッサの製造から出発

1926年創業
(旧社名：岩田製作所)

米国社製を手本に
スプレーガンの製造を開始

スプレーガン

塗装用ハンドガン

圧縮空気で
塗料を霧状に

空気圧縮機

コンプレッサ

スプレーガンの検査用
圧縮機として製造開始

製品の差別化を
可能にしたコンセプト

- ・環境対応
- ・塗面作成の提案力

- ・オイルフリー化
- ・省エネ性



塗装ロボット



エアブラシ



製品の多様化
用途の開拓

コーティング事業

塗装機器

スプレーガン、塗料供給ポンプなどの機器単体

塗装設備

塗装機器と換気や乾燥装置、塗装ロボットなどを組み合わせたシステム

エアエナジー事業

圧縮機

空気圧縮機、N2ガス発生装置、タンクなどの補器類

真空機器

真空ポンプ、バルブなどの補器類



オイルフリースクロール型真空ポンプ



オイルフリースクロール型圧縮機

将来見通しに関する記述及びその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではありません。

お問合せ先： アネスト岩田株式会社
経営企画部 IR・コーポレートコミュニケーション室
TEL: 045-591-9344
E-mail : ir_koho@anest-iwata.co.jp
URL : <https://www.anestiwata-corp.com/jp>